



東京大学 工学部
電子情報工学科・電気電子工学科
進学ガイダンスブック

2025



EEIC

Electrical and Electronic Engineering /
Information and Communication Engineering



東京大学工学部
電子情報工学科 電気電子工学科 事務室

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
Phone: 03-5841-6711 Fax: 03-5841-6702
<https://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/>

進学相談はお気軽にどうぞ
e-mail: question@ee.t.u-tokyo.ac.jp

202503.1050 / gram inc.



物理を究め、情報社会に変革を。 情報を究め、物理世界に変容を。

Innovate the Information Society through Physics
Renovate the Physical World through Information

私たちは、「物理」というリアルな世界と、「情報」という抽象化された世界を行き来しながら、これらを巧みに操ることで繁栄を続けてきました。

言語を発明することで「情報」を抽象化し、言葉や文字といった「物理」を用いて、記録して伝えることに成功しました。その後、コンピュータの発明を経て、情報をデジタル化し、インターネットを介して世界中とつなげる技術を手に入れました。そしていま、すべてのモノが接続され、人工知能によって処理される時代において、情報技術は、凄まじい力を持って私たちの社会を変えています。

「情報」を操るには「物理」が必要であり、「物理」に向き合えば「情報」の新しい使い方が見えてきます。物理と情報。ハードとソフト。原理と応用。実空間とサイバー空間。どちらか片方では不十分であり、その双方を俯瞰し、行き来できる力が、いま求められています。

電子情報工学科・電気電子工学科では、そんな人材を育てています。

目次

2025年度
電子情報工学科・電気電子工学科 進学ガイダンスブック

- 02 履修について
- 03 大学院の紹介
- 04 講義系統図
- 06 学科の生活
- 08 Voices 所属学生の声
- 12 学生実験・演習
- 14 施設・設備
- 15 卒業生の進路
- 16 学科沿革
- 17 アクセスマップ

【教員一覧、研究分野などは、下記のWebサイトをご覧ください。】

● 教員・研究一覧

● EEIC
東京大学工学部
電子情報工学科・電気電子工学科



履修について

【進学振り分けと履修プラン】

電子情報工学科・電気電子工学科の2学科では、現代技術の中核を担う情報・電気・電子の技術を体系的に学び、最先端の応用へと展開していく学力と知識を養うことをめざしていきます。

皆さんは、幅広い視野をもって多彩な学術分野を学ぶとともに、特定分野について深く掘り下げていき専門知識を身に着けます。

電子情報工学科と電気電子工学科は、学ぶべき基礎学問が重なり合っているため、当初は履修できる科目のほとんどが共通しています。

3年生の冬学期からはこれまでに培ってきた知識を発展させ、さらに深く学べるよう、広範な分野における履修プランが用意されています。学びながら将来を見据えた専門分野を考えていきましょう。

詳細は、<https://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp> をご覧ください。

【カリキュラム】

● 2年冬～3年夏： 情報と物理から学び始める学科カリキュラム

【電子情報工学科】主に情報系の科学と技術に重点をおいて学び始めます。

キーワード

- ・計算知能
- ・コミュニケーション
- ・メディアデザイン

【電気電子工学科】主に物理系の科学と技術に重点をおいて学び始めます。

キーワード

- ・エネルギー & 環境
- ・ナノ物理
- ・電子 & 光システム

最初はそれぞれの学科の必修科目を中心に学びます。必修科目は学科による違いがありますが、意欲のある学生はすべての科目を履修できるように時間割が設計されています。

3年夏学期になると必修の講義科目はなくなり、自分の興味に応じた履修ができます。

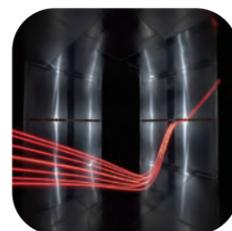
● 3年冬～4年冬： 専門分野に学びを進める履修プラン

3年冬学期からはさまざまな履修プランが準備されており、情報・電気・電子に共通する基礎技術を応用に結び付けていく技術を学びます。

各履修プランに定員はなく、それまでに学んできた経験を踏まえ、自分が希望するプランを選ぶことができます。

メディア情報・コンテンツ・人間
コンピュータ・ネットワーク
システム・エレクトロニクス
革新デバイス・光量子
環境エネルギー・モビリティ

こうした学習を経て、4年次には卒業研究を行う研究室を選択します。研究室の選択はまったく自由で、3年次までの経験からもっとも自分に適したテーマを選ぶことができます。



大学院の紹介

学部で基礎的な学力を身につけた学生がさらに専門分野を深く探究するために、大学院（研究科）があります。大学院には前期2年間の修士課程と後期3年間の博士課程とがあります。

修士課程

学部における一般的なならびに専門的な教育の基礎のうえに、広い視野に立って深遠な学識をおさめ、専門分野における理論と応用の研究能力を養うことを目的としています。

博士課程

独創的研究によって、従来の学術水準に新しい知見を加え、文化の進展に寄与するとともに、専門分野に関して研究を指導する能力を養うことを目的としています。

【連携する大学院の紹介】

電子情報・電気電子の2つの学科に関連する組織には、電子情報学専攻や電気系工学専攻を含む7つの専攻と5つの研究所があり、高度な専門性を深めるとともに、学際的な視点を活かした多様な進路の選択肢が用意されています。

- 情報理工学系研究科
電子情報学専攻
創造情報学専攻

- 新領域創成科学研究科
先端エネルギー工学専攻

- 工学系研究科
電気系工学専攻
バイオエンジニアリング専攻
先端学際工学専攻

- 情報学環・学際情報学府
学際情報学専攻

- 東京大学 生産技術研究所
- 東京大学 先端科学技術研究センター
- 東京大学 情報基盤センター
- 国立情報学研究所 (NII)
- 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

電・電2学科と連携する5つの研究所では、ものづくりの先端技術、情報基盤、人工知能、宇宙開発など、多様な分野で社会課題の解決や未来技術の創出の最前線の研究に取り組みます。

【連携する国際卓越大学院プログラム】

電子情報・電気電子2学科の学生が進学可能な大学院の専攻は、多くの国際卓越大学院教育プログラム (WINGS) に参画しています。これらのプログラムでは、学生が経済的支援を受けながら高度な専門知識を深め、国際的な舞台で多様な分野にわたって活躍しています。

以下は代表的なものを紹介します。

1. 量子・半導体科学技術国際卓越大学院 (WINGS-QSTEP)

量子科学と半導体技術の分野で、社会課題の解決に貢献できる人材を育成することを目的としたプログラムです。

2. 統合物質・情報国際卓越大学院プログラム (MERIT-WINGS)

物質科学と情報科学の融合により、新たな価値創造を目指す人材を育成するプログラムです。

3. 未来社会協創国際卓越大学院 (WINGS-CFS)

科学と技術の将来を切り拓く国際的に卓越した「知のプロフェッショナル」人材を育成する修士・博士一貫教育プログラムです。

4. 知能社会国際卓越大学院 (IIW)

人工知能 (AI) やデータサイエンスの分野で、次世代の知能社会をリードする人材を育成するプログラムです。

5. 生命科学技術国際卓越大学院プログラム (WINGS-LST)

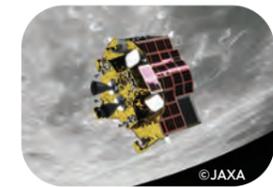
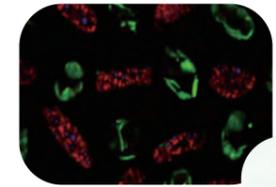
生命科学と工学の融合領域で、革新的な研究を推進する人材を育成するプログラムです。

6. 社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成国際卓越大学院プログラム (WINGS-GSDM)

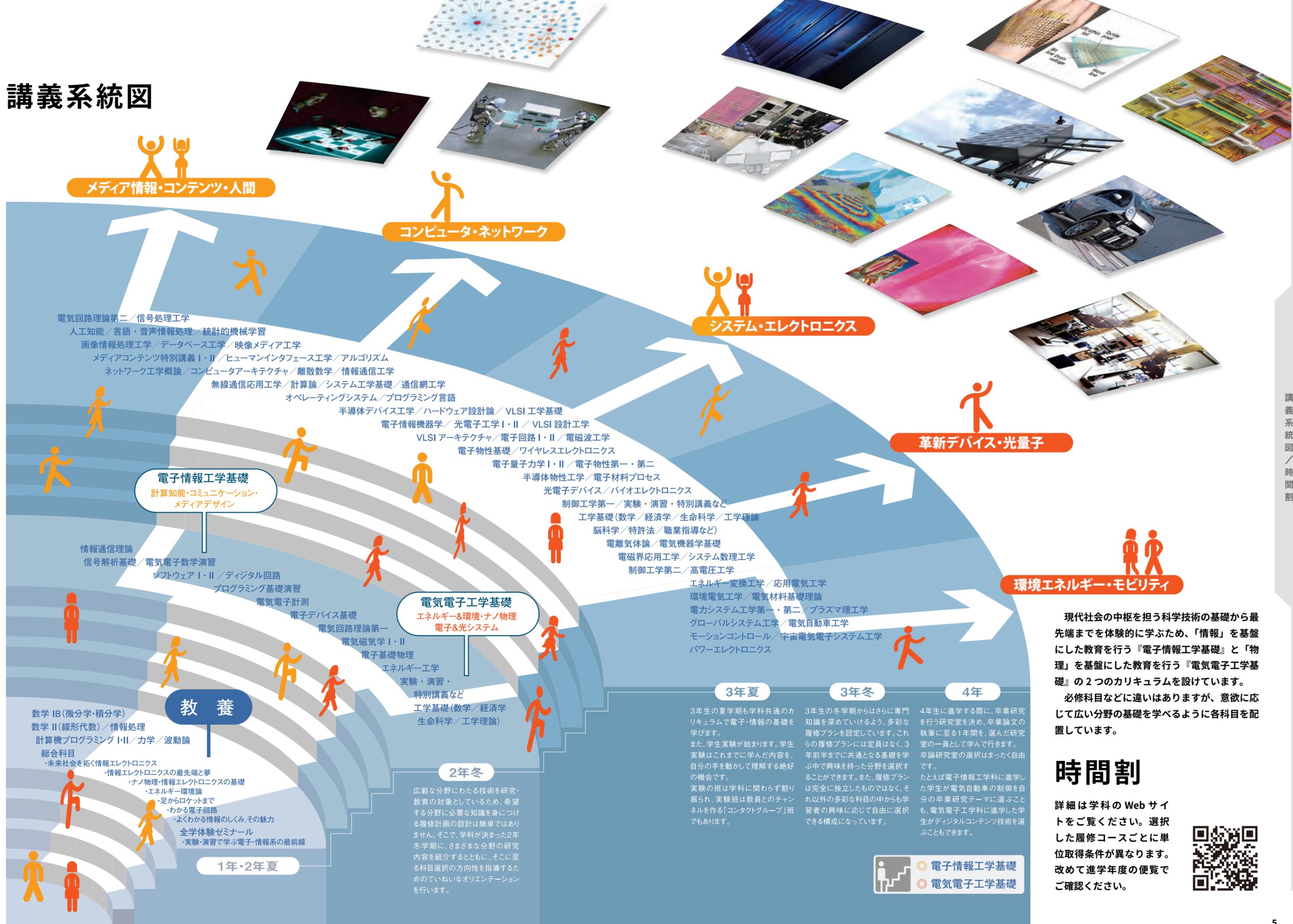
多様な専門分野の知識を統合し、社会課題の解決策をデザイン・実践できる人材を育成するプログラムです。

7. 次世代知能社会を先導する高度 AI 人材育成 (BOOST NAIS)

次世代人工知能 (AI) 研究を牽引するための知識やスキルに加え、異分野交流や産学連携、アントレプレナーシップ教育を通じて自身の研究成果を社会価値として発信できる高度人材を育成するプログラムです。



講義系統図



メディア情報・コンテンツ・人間

コンピュータ・ネットワーク

システム・エレクトロニクス

革新デバイス・光量子

環境エネルギー・モビリティ

電子情報工学基礎
計算知能・コミュニケーション・メディアデザイン

電気電子工学基礎
エネルギー&環境・ナノ物理
電子&光システム

教養

2年冬

3年夏

3年冬

4年

時間割

現代社会の中核を担う科学技術の基礎から最先端までを体験的に学ぶため、「情報」を基盤にした教育を行う『電子情報工学基礎』と「物理」を基盤にした教育を行う『電気電子工学基礎』の2つのカリキュラムを設けています。

必修科目などに違いはありますが、意欲に応じて広い分野の基礎を学べるように各科目を配置しています。

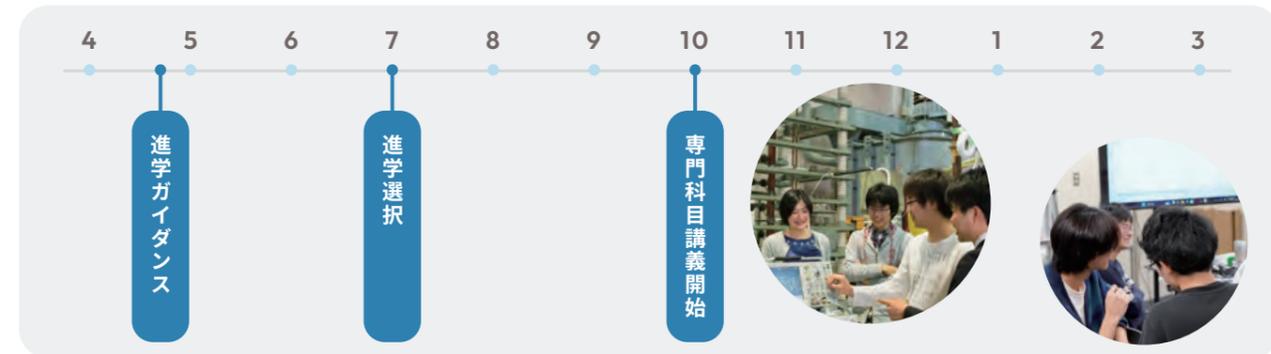
詳細は学科のWebサイトをご覧ください。選択した履修コースごとに単位取得条件が異なります。改めて進学年度の便覧でご確認ください。



- 電子情報工学基礎
- 電気電子工学基礎

学科の生活

2年生の生活



10月：専門科目講義開始

専門という難しく感じますが、2年生の講義は分野の基礎からスタート。重点科目を丁寧に学んでいきます。この道の先輩でもある教員陣は、これまで以上に身近な存在に。また、共通する興味関心を持った仲間も集まってきます。

3年生の生活



4月：本郷進学

安田講堂隣に立つレトロとモダンが溶け合う工学部2号館、ここが皆さんの学びの拠点です。学生控室にロッカーを持ち、腰を据えて授業に取り組めるはず。本郷キャンパスは駒場キャンパスに比べて落ち着いていて研究に適した雰囲気、気持ちも新たにこれからの研究生生活の礎となる知識を身につけます。

コンタクトグループ

3年生では実験を行います、電気電子・電子情報の学生が混合で班を組んで実験課題に取り組みます。各班には担当の教員が付き、学生生活の相談に乗る場が設けられます。

5月：五月祭

電気系学科では、電気・情報系の魅力を伝える「近未来体験」イベントを毎年出展します。4年生が中心となってプロジェクトを進めますが3年生も多く携わります。電子工作のキットを販売したりウェブ上で遊べるゲームを作成したりと、例年趣向を凝らした展示を作ります。五月祭ウェブサイト <https://eeic.jp/>

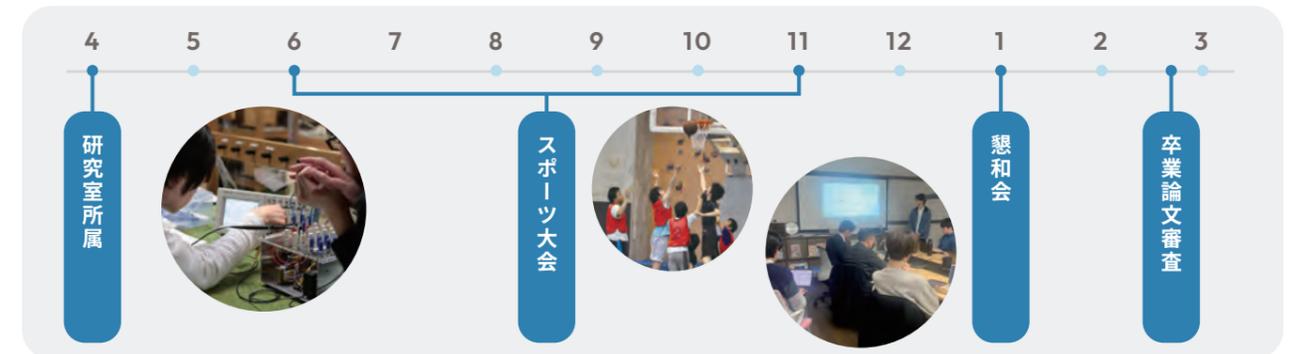
6月：企業見学

夏学期の金曜午後の時間を使って、企業見学や JAXA の研究所をはじめとした研究現場の見学を行います。電気系の OB・OG とお話ししながら、講義や実験で学習したことが社会でどのように活かされるか実感してもらえます。

12月：卒論研究室見学会

卒論配属前に各研究室の雰囲気や研究内容を知るため見学会が行われます。

4年生の生活



4年生になると研究室に所属し、研究者への第一歩を踏み出します。これまで学んだことを活かし、前人未踏の課題に挑戦しましょう。ここからは日常生活の舞台も研究室。経験豊かな大学院の先輩も支えに、卒業まで日々成長していく自分を実感してください。

4月：研究室所属

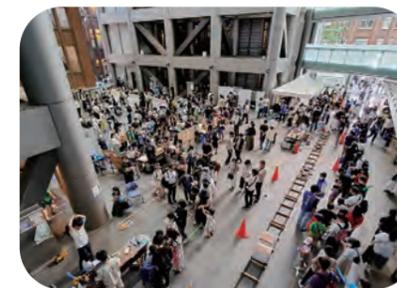
3年生までの成績や学生の希望などをもとに、所属する研究室が決まります。研究生生活は初めてとなりますが、各研究室の先生や先輩の指導により研究方法の基礎を身につけて行きます。

8月：大学院入試

多くの学生が大学院に進学します。主な進学先として、工学系研究科 電気系工学専攻、情報理工学系研究科 電子情報学専攻、新領域創成科学研究科 先端エネルギー工学専攻、学際情報府 先端表現情報学コースなどがあります。1ヶ月ほど研究室をお休みして院試の勉強に充てる人が多いです。

2月：卒業論文発表

2月には卒業論文審査があり、それに先駆けて10月には中間審査があります。卒業論文を書き上げ、審査会で合格となれば晴れて卒業です。審査会は複数の研究室の合同で行われ、他の研究室の研究を垣間見することもできます。特別に優秀な発表は表彰されます。



多彩な分野の学問や多彩な仲間が集まる教養学部とは打って変わって、一つの場所に軸足を置いて探究を進める学科では、同じ志を持つ教員・仲間との深く濃い交流が生まれます。卒業や進学などの展望も開け、企業や研究所の最前線に触れるチャンスも。学部上級生として新人研究者として、ますます自発性が問われるでしょう。アクティブで実り多い毎日が待っています。

[Voices] 所属学生の声

電気電子工学科での学生生活や現在の研究について、現在所属している学生や卒業して各方面で活躍している学生のインタビューをご紹介します。電気電子工学科 Web サイトでは、誌面に紹介しきれないインタビュー記事を掲載しています。

<https://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/interview/voices/>

* 学年はインタビュー当時(2024年度)のもので



杉山 詩歩さん

田中・アイン研究室
学部4年生(電子情報工学科)

これまでにない
新しい半導体デバイスをつくる
研究をしています



豊井 美雪さん

熊田・佐藤・藤井・梅本研究室
学部4年生(電気電子工学科)

深層学習を用いて特殊な電力利用も
正確に予測可能にする
研究をしています

杉山詩歩さんは、ものづくりがしたいという気持ちから電子情報工学科に進学されました。講義を受ける中で特に半導体デバイスに興味を持ち、現在はスピン偏極電流を活用した電子デバイスの研究に取り組まれています。

■ 研究室の雰囲気を教えてください
私の所属する田中・アイン研究室では、扱う装置の数が多く、必要な背景知識の分野が広いですが、直接指導していただいている中根昌先生を含めた先生方や博士課程の先輩方と密にコンタクトを取ることができ、手厚いサポートの下で研究を進めることができます。ありがたいです！

■ EEIC は忙しいでしょうか、部活やバイトやプライベートとの両立は可能ですか
2年生のAセメスターはたくさんの授業やレポートがあり忙しかった記憶がありますが、部活やバイト・プライベートと

の両立はもちろん可能です。IT系の会社でインターンをしたり、教育系のバイトをしている人が多い印象です。授業の課題が難しいときは同期の子たちと助け合いながら乗り切っていました！

■ EEIC を目指すB1、B2 へのメッセージ
情報系でも電気系でも「ものづくり」というキーワードが響く人には特におすすめの学科だと思います！やる気のある人が多い恵まれた環境ですし、学科の講義、研究室での研究指導のサポートも手厚いので、必要以上に臆することなく来てもらえたらとても嬉しいと思います！

豊井美雪さんは、熊田・佐藤・藤井・梅本研究室に所属し、転移学習を用いた電力需要予想に関する研究に取り組まれています。

■ 研究室の雰囲気を教えてください
熊田・佐藤・藤井・梅本研究室は、高電圧工学を専門とした研究室であり、研究テーマは超高電圧を扱う実験から計算科学まで多岐にわたっています。私自身は電力需要予測の研究に取り組んでいます。他の同期は真空プラズマやマテリアルインフォマティクスについて研究しています。先輩方や先生方の面倒見の良さも、研究室の大きな特徴です。研究発表のスライドや論文の原稿を提出すると丁寧に添削してくださいます。

■ EEIC は忙しいでしょうか、部活やバイトやプライベートとの両立は可能ですか
忙しい期間もあると思いますが、プライベート等との両立は十分可能だと思いま

す。シケブリや過去問を共有する文化もあり、思っていたよりも楽しかったです。私自身も2年の後期(EEIC生活の中で最も忙しい時期と言われています)は、重めのサークルを2つ掛け持ちしていました。3年の後期から授業が少なくなるので、そのタイミングで長期インターンを始める人も多いようです。

■ EEIC を目指すB1、B2 へのメッセージ
一口に電気系と言っても、本当に幅広い分野の研究室があります。EEICに入ってから「こんなこともカバーしているのか」と驚いたことも何回もあります。自分は電気には興味がないと思っている方にも、是非一度検討してみてください！

鬼久保拓人さんは、現在は国立情報研究所(NII)の佐藤真一研究室に所属し、画像処理技術によってプライバシーを保護する手法について研究をされています。

■ 研究室の雰囲気を教えてください

研究室の雰囲気を一言で表すと、「インターナショナル」です。というのも私が所属している佐藤真一研究室は、東大の敷地ではなく国立情報学研究所(NII)の中にあります。したがって、本郷や駒場のキャンパスとは雰囲気が全く異なります。研究所内では日本語を聞くことは減少になり、さまざまな国の言葉が聞こえてきます。また、研究所内の他の研究室と居室を共有していることもあり、横のつながりも強いです。日本に暮らしながら海外留学をしているような、とても刺激のある生活を送っています。

■ EEIC を目指すB1、B2 へのメッセージ

EEICは、教員も学友も尊敬できる人がたくさんいて、学問を修める上でこれ以上ない環境だと思います。どの研究室も日本の第一線で活躍していて、国際的にも強い発信力を持っています。学生の指導にもとても力を入れていて、実際に自分や多くの同級生が国内外のさまざまな学会で発表する機会をいただいています。そんな優れた教育環境に加え、周りの優秀な学生と切磋琢磨することで、私も卒業する頃には見違えるほど成長できた実感しています。



鬼久保 拓人さん

佐藤真一研究室
修士課程1年生(電気電子工学科2023年度卒)

人々の画像のプライバシーを守る
手法について研究をしています

相場真由子さんは、自然言語処理技術と音声処理技術に応用した未来の英語教育に関する研究をしています。卒業論文研究に対して、電気学術女性活動奨励賞を受賞するなど、大変活躍されています。

■ EEIC は忙しいでしょうか、部活やバイトやプライベートとの両立は可能ですか

一般的には忙しい学科だとは思いますが、ただ、「やりたい」という気持ちがあれば両立は可能な環境です。実際、私は学部生時代にずっと部活(東大チア・週4回練習)とインターン(週10~15時間程度)を両方やっていました。両立が可能とは言っても時間は有限なので、今の自分にとって何が大切なのかということは常に意識しておく必要があると思います。

トウェアまで、幅広い分野で未来の社会を支える最先端の知識を学ぶことができる学科です。EEICには多様な専門を持つ学生が集まっており、互いに刺激しながら成長していける環境があります。わからないことや興味を持った分野について、すぐに身近な仲間に相談できるということもこの学科の魅力の一つだと私は感じています。進学選択は今後の人生の方針が決まる大きな決断だと思います。EEICでの学びや出会いが皆さんの将来の選択肢をさらに広げ、夢を実現する一歩となることを願っています。

■ EEIC を目指すB1、B2 へのメッセージ

EEICは、電気・電子デバイスからソフ

若本裕介さんは理科1類から電気電子工学科に進学し、その後、半導体分野を専門とする研究者になることを志して中野・種村・前田研に配属されました。現在は小関研究室において、誘導ラマン散乱を用いた半導体結晶・デバイスの物性評価に取り組まれています。

■ 修士卒業後の進路

博士課程進学を志しております。研究をやるなら中途半端にやらずにしっかりやりきりたいという思いで進学するつもりです。博士といえば、経済的に不安・就職難というイメージがあるかもしれませんが、電気系分野では全くそう思うことはないと思います。現在は、博士学生に対して18万円以上の奨励金を給付する経済援助プログラムが多数あり、博士学生は心置きなく研究に没頭することができます(私もヒロセ財団の研究者育成プログラムに採択されており、修士学生ですが、金銭的サポートを受けながら

研究に取り組んでいます。ありがとうございます(私の周囲では修士卒の方々が一度就職しながらも結局博士課程に進学するケースもよく見かけ、博士課程に進学することが全く珍しいものではなくなったと感じています。

■ EEIC を目指すB1、B2 へのメッセージ

EEICは楽な学科であるとは思いますが、充実した学生生活を送ることのできる良い学科だと思っています。仲間とともに同じことを考え、議論する日々はとても楽しかったです。皆様もぜひEEICの生活を楽しんでいただければと思います。



相場 真由子さん

峯松・齋藤研究室
修士課程1年生(電子情報工学科2023年度卒)

音声・自然言語処理の研究で
未来の英語教育を良くする研究を
しています



若本 裕介さん

小関研究室
修士課程1年生(電気電子工学科2023年度卒)

最先端の光学で
新しい半導体の物性を解明します

学生実験・演習



04 ゲーム AI・人工生命を創ろう

賢いゲーム AI を創ってみんなでレーシングカーの対戦をしよう。また、鳥はどのように群れるのか、働かないアリに意義があるのか、小魚の群れとサメはどのように協力しているのか、など生命・創発現象をシミュレーションします。

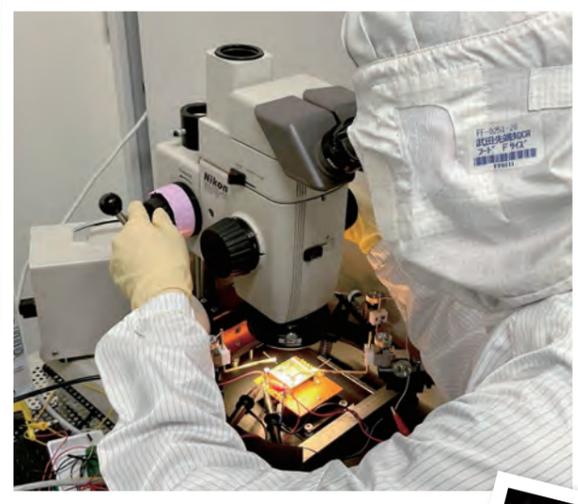
01 OpenCV/OpenGL による映像処理

画像認識 (OpenCV)、画像合成 (OpenGL) のライブラリの使い方を学び、映像技術のプログラミングを体験！テーマを自ら設定して自由課題の形式で開発・調査を行うことができる。



11 ゲートアレイによる CMOS VLSI の設計試作

LSI の物理設計から製作・検証までを体験！トランジスタの物理構造を理解し、数十個のトランジスタで構成される回路を設計。CAD ツールを用いて回路のシミュレーション・レイアウト・検証を実践する。設計した回路は、武田先端知スーパークリーンルームでリソグラフィ・エッチングを用いて製作。コンピュータ上の設計が実物の LSI になる瞬間を体感しよう！



14 フォトニクス実験

光の性質を理解し、半導体レーザーや光ファイバ通信の計測・評価を実施。実験の裏に潜む物理を自分の手で発見する、これこそ科学者の醍醐味だ。



好奇心が動き出す。この世の原理が手に取れる。

3 年次の実験・演習は、自分の興味を存分に刺激するエキサイティングな時間。電子・情報系の幅広い研究領域から、まず押さえておきたい基礎的学習事項を、実際に手を動かして体得していきます。「そうだったのか!」「自力でできた!」そんな感動を味わっているうちに、原理に気づく力、問題を解決する力が身につくでしょう。ここではそんな実験の様子を少しだけご紹介します。好奇心のアンテナを高くして、いろいろなジャンルに挑戦してみてください。

Experience

未知の体験を楽しもう

専門的な実験装置の扱い方を覚え、目に見えない電気電子や情報のありさまを測定・解析し、定性的・定量的な特性を実際に体感することができます。実験結果をふまえて原理を理解することで、その分野に欠かせない基礎が身につくでしょう。

Presentation

わかりやすく説明しよう

実験・演習で得られた結果を全員の前で発表する課題もあります。他人にわかりやすく言語化しようとする中で、自分自身の理解も深まっていくでしょう。将来の卒業研究発表や自己 PR のためによい経験となるはずです。

Creation

アイデアを発揮しよう

課題の中には、学んだ技術を駆使してオリジナル作品を創るものもあります。独創的なアイデアが評価されるときにも、目的のモノをめざす過程で生じるさまざまな問題を自分で見つけ、解決する能力が身につきます。

Self-analysis

自分だけの専門分野を探そう

幅広い研究領域を持つ電子・情報系では、自分が何をめざして何を学ぶかという目的意識を持たなければ、せっかく得た見識や技術が活かせません。多くの実験・演習の中から自分の興味や得意分野を探り、将来の指針としてください。



20 高電圧現象

他大学に類を見ない大型高電圧発生装置を駆使し、インパルスをはじめ様々な電気が引き起こす自然現象を測定。迫力ある実験スケールを堪能しよう。

【実験・演習課題 / 2024 年実績】

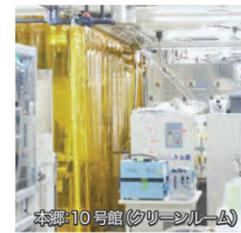
28 課題のうち、3-6 課題を自由に選択できます

- ◎ 01 OpenCV/OpenGL による映像処理
- ◎ 02 情報可視化技術とデータ解析
- ◎ 03 音声対話システムの構築
- ◎ 04 ゲーム AI・人工生命を創ろう
- ◎ 05 人工知能演習
- ◎ 06 マイクロプロセッサの設計と実装
- ◎ 07 大規模ソフトウェアを手探る
- ◎ 08 IoT システムの設計
- ◎ 09 無線通信を支える技術
～アンテナと通信方式の実践的理解～
- ◎ 10 LSI のテスト
- ◎ 11 ゲートアレイによる CMOS VLSI の設計試作
- ◎ 12 FPGA を用いたアルゴリズム実験
- ◎ 13 機械学習に向けた Approximate Computing
- ◎ 14 フォトニクス実験
- ◎ 15 半導体デバイス：有機光検出器
- ◎ 16 半導体デバイス：キャリア統計と電子輸送現象
- ◎ 17 半導体デバイス：MOSFET
- ◎ 18 AI を用いたシリコンフォトニクス設計
- ◎ 19 電力経済
- ◎ 20 反復学習制御による高精度位置決め制御の実践
- ◎ 21 e モビリティへの制御応用
- ◎ 22 高電圧現象
- ◎ 23 マテリアルズ・インフォマティクス
- ◎ 24 核融合・宇宙プラズマ実験
- ◎ 25 プラズマ応用実験と電界の数値計算
- ◎ 26 パワーエレクトロニクスと制御
- ◎ 27 マグネティクス基礎
- ◎ 28 三相交流電力発生・輸送の基礎

施設・設備

拠点となる2号館、3号館、リニューアルされた10号館をはじめ、本郷、駒場、柏、相模原の各キャンパスには、世界最高峰の施設や設備が充実しています。

最先端技術と歴史が融合した工学部2号館。電気系のヘッドクォーターです。巨大な吹き抜けがあり、様々なイベントが行われています。「サブウェイ」もあり、憩いの場になっています。



本郷：10号館(クリーンルーム)



本郷：2号館(エントランス)



柏：図書館



あらゆる書物が揃った図書館。

2013年に新築された3号館。ここから様々な新しい研究がはじまります。



本郷：2号館



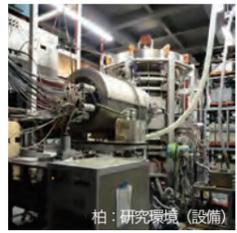
相模原：屋外展示



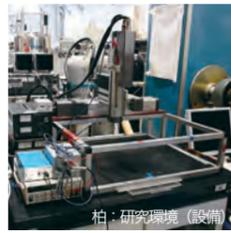
柏：研究環境(設備)



相模原：屋内展示



柏：研究環境(設備)



柏：研究環境(設備)



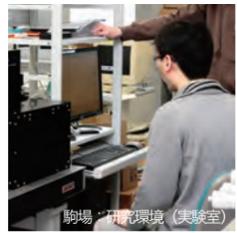
本郷：研究環境(設備)

自動車制御の研究を行うサーキット。

世界最高の研究設備がそろった実験室。最先端の研究が毎年生み出されています。



駒場：研究環境(居室)



駒場：研究環境(実習室)

最先端の研究を行う居室空間。海外からの留学生も多く、国際的な雰囲気が広がっています。

綺麗な講義室。冷暖房はもちろん、ワイヤレスLANや電源も各机に完備されています。



駒場：講義室



本郷：講義室



駒場：講義室



駒場：ホワイエ

美味しくて安い安田講堂下の中央食堂。

ディスカッションを行うための憩いの空間がたくさんあります。

卒業生の進路

約6000名の卒業生が広範な分野で活躍しており、その圧倒的なネットワーク力を背景に、多種多様な企業や機関に学部・修士の学生が就職しています。就職先に困るということはまずありません。最も多いところは直近5年間で20名以上。電機・通信・情報システム系の就職人気企業の上位を網羅しているだけでなく、自らベンチャー企業を立ち上げる人も増えてきました。

また自動車メーカーでのソフトウェア開発職の求人が増加しているのも最近の傾向です。Google、ヤフーでのソフトウェアエンジニアからコンサルティング、金融、公的研究機関(宇宙航空研究開発機構 JAXA や産業技術総合研究所)などへの就職者もいます。社会と密接に関わりながら広範な知識を身に付けた卒業生の進路は、多岐に渡っています。

【学部卒業生・修士課程修了者の就職状況(最近5年間、2人以上の就職先)】

41人	・LINE ヤフー	5人	・ファナック ・ソニーグループ ・キヤノン ・キーエンス ・TSMC	2人	・JR 東日本 ・本田技研 ・特許庁 ・SMBC 日興証券 ・Preferred Networks ・三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 ・三井住友銀行 ・藤倉電線(フジクラ) ・野村證券 ・チームラボ ・ソニー LSI デザイン ・京セラ ・Microsoft China ・IHI ・DXC テクノロジー ・DMM.com ・Cygames ・Bernel Technology Co. Ltd ・Amazon Japan Software Development Engineer ・旭化成 ・三菱総研 ・マッキンゼー&カンパニー ・indeed ・テキサスインスツルメンツ ・村田製作所 ・Deep Eye Vision ・atama plus ・みずほフィナンシャルグループ ・サイバーエージェント ・日本銀行 ・ポッシュ ・日本シノプス合同会社 ・GMO インターネットグループ
31人	・ソニーセミコンダクタソリューションズ	4人	・JR 東海 ・コーエーテックモホールディングス ・DeNA ・日本マイクロソフト ・日本シノプス合同会社 ・ダイキン工業 ・シンプレクス ・関西電力 ・デロイトトーマツコンサルティング合同会社 ・ソニーインタラクティブエンタテインメント ・東京エレクトロン	3人	・野村総研 ・日本 IBM ・国土交通省 ・ゴールドマンサックス ・PwC コンサルティング ・ベンチャー企業 ・日本エリクソン ・エムスリー ・NRI セキュアテクノロジーズ ・三井物産 ・フューチャー ・任天堂 ・ウエスタンデジタルジャパン
23人	・アマゾンウェブサービス	17人	・ソニー ・NTT データ	9人	・三菱電機 ・アクセンチュア
17人	・日立製作所	15人	・日立製作所	8人	・ソフトバンク ・NTT ドコモ ・KDDI ・パナソニック ・東芝
14人	・楽天	14人	・楽天	7人	・富士通 ・東京電力 ・HUAWEI 中国 ・Google ・NTT 研究所 ・日本電気
10人	・リクルート	10人	・リクルート	6人	・住友電工 ・NTT コミュニケーションズ ・トヨタ自動車 ・マイクロンメモリジャパン ・東京ガス ・ルネサスエレクトロニクス

【博士課程修了者の就職状況(最近の5年間)】

	2024年	2023年	2022年	2021年	2020年
大学教員・研究員	11	23	24	10	14
企業	18	21	13	11	18

単位：人

学科沿革



捕雷役電 (本学科会議室)
波澤元治先生より昭和15年に寄贈されました。

東京～横浜間に日本初の電信が開通したのは明治2年12月25日。本学科の起源は、その後明治6年(1873年)に設置された工部省工部学校電信科にまで遡ります。それは時代の要請を受け、当時の技術の最先端を行く学科でした。明治6年、25歳だった英国人W.E.アトーンが初代教授となり、5年間主任教授を務めました。

この電信科では主に電気通信技術の習得をめざし、教育科目は数学と物理学、特に電磁気学でした。アトーン教授は学生たちとともに日夜研究に没頭し、その成果を英国の学会誌などに次々に発表した

ため、電磁気学の大家マクスウェルをして「電気学界の中心は日本に近づけり」と言わしめたという有名な伝説が残されています。

明治19年(1886年)には東京大学と統合され、帝国大学工科大学として再スタート。この頃には電気工学科として電信のみならず電灯、電力、電気鉄道、電話など広範な講義が開講されるようになっていました。これは大学の電気工学科としては世界最初の学科であり、現在の電子・情報系の基礎となっています。

- | | |
|--|--|
| 1871 工部省工部学校の設置 | 1976 工学部10号館の竣工 |
| 1873 英国人W.E.Ayton(アトーン)の電信科初代教授への就任/第一期生入学 | 1991 電子情報工学科の新設 |
| 1877 工部学校から工部大学校への名称変更 | 1995 電子情報工学専攻の新設/工学部14号館の竣工 |
| 1879 工部大学校第一期生卒業 | 1996 大規模集積システム設計教育研究センターの設立 |
| 1883 志田林三郎の日本人初の教授への就任 | 1999 大学院新領域創成科学研究科(先端エネルギー工学専攻、基盤情報学専攻)の新設/高温プラズマ研究センターの設立 |
| 1884 電信科から電気工学科への名称変更 | 2000 大学院情報学環、学際情報学府の新設 |
| 1886 工部大学校と東京大学工芸学部との合併/帝国大学工科大学への名称変更 | 2001 大学院情報理工学系研究科(電子情報学専攻)の新設 |
| 1888 虎ノ門から本郷への校舎移転/志田林三郎教授の尽力により電気学会(初代会長:榎本武揚)の創立 | 2002 文部科学省21世紀COEプログラムに選定 |
| 1897 帝国大学から東京帝国大学への名称変更 | 2005 工学部新2号館の竣工 |
| 1919 工科大学から工学部(旧制)への名称変更 | 2007 文部科学省グローバルCOEプログラムに選定 |
| 1923 関東大震災で本館校舎崩壊(現工学部1号館付近) | 2008 電気工学専攻、電子工学専攻、基盤情報学専攻から電気系工学専攻への改組 |
| 1930 高電圧実験室(現工学部13号館)の竣工 | 2009 電気工学科、電子工学科から電気電子工学科への改組 |
| 1939 工学部3号館の竣工 | 2013 工学部3号館の竣工 |
| 1942 第二工学部の増設 | 2019 システムデザイン研究センター(d.lab)の設立 |
| 1947 東京帝国大学から東京大学への名称変更 | 2023 工部省工部学校電信科をルーツに持つ電気系2学科 創立150周年記念 |
| 1949 第二工学部の生産技術研究所への転換 | 2024 工学部10号館のリニューアルが完了 |
| 1953 大学院数物系研究科(新制大学院)に電気工学専攻の設置 | |
| 1958 電子工学科の新設 | |
| 1961 電子工学専攻の新設 | |
| 1962 工学部3号館の増築 | |
| 1965 大学院数物系研究科から大学院工学系研究科への改組 | |



【学科のロゴマーク】

学科のロゴマークは、2009年3月に電子情報工学科を卒業した林泰子さんのデザインです。電球のフィラメントを回転させ、電気「e」を想起させる「E」としたものです。「でんきのちからで あかるくてらす」学科をイメージしたものです。

アクセスマップ

